

2026年3月25日(水)午前9:30からCRTスタジオで収録

志願倍率が1倍を下回る学校を第一志望校とする受験生の皆様への塾長メッセージ

—第一志望校上位合格・上位卒業を目指し、しっかり受験勉強に励もう！—

開倫塾 塾長

開倫塾日本語学校理事長・校長

林 明 夫

○この番組は「社会人を含め効果の上がる学習方法」を皆様とご一緒に考える番組です。

塾長の林明夫が担当、この3月で、放送開始から40年目に入りました。

今回(2084回目)は、3月25日(水)午前9時30分からCRTスタジオで収録いたしました。

.....

Q：読売新聞2026年3月22日によれば、「今春の公立高校入試で、33道府県で平均志願倍率が1倍を下回る」そうです。志願倍率が、1倍を下回る学校を「第一志望校」とする受験生は、どのように受験勉強をしたらよいのでしょうか。

A：(1) 志を高く持ち、「第一志望校上位合格・上位卒業」を目指すことをおすすめします。

(2) これは、公立高校入試に限りません。私立中学入試、公立中高一貫校入試、私立高校入試、国公立大学入試、私立大学入試、短期大学・専門学校・専修学校さらには、大学院入試でも、「第一志望校」の志願倍率が1倍を下回ったり、志願倍率があまり高くないと、「どうせ合格するのだから」と、受験勉強に力が入らない受験生が数多く見られます。

(3) すべての入学試験の受験生は、「志を高く持ち、第一志望校上位合格・上位卒業を目指し、本格的な勉強」をなさることを、心からおすすめします。

Q：なぜですか。どうせ受かるのなら、軽くやればよいではありませんか。大体、受験勉強など、何の役にも立たない、無駄なことではないですか。

A：(1) 「どうせ受かるのなら、役に立たない受験勉強をするのは無駄」。そのようにお考えになるのはよくわかります。

(2) ただ、よくお考えになっていただきたいのは、小学校、中学校、高校の各学年、各教科で学ぶ内容は、本当に、役に立たないことなのでしょうか。

(3) 小学校の勉強は中学校ですべて役立っているように、中学校の勉強は、高校ですべて役立ちます。高校の勉強は、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院での勉強にすべて役立ちます。高校や大学などでの勉強は、社会に出て、仕事、社会的活動、日常生活にすべて役立ちます。よく生きるのに、すべて役に立ちます。一生、死ぬまで役に立ちます。

////////////////////////////////////

○学校の勉強はすべて役に立ちますが、せっかく勉強しても、忘れてしまっては、役に立ちません。

そこで、開倫塾でおすすめしているのは、学校の教科書、参考書、授業ノート、まとめノート、辞書、地図帳、年表などは、学校を卒業した後、処分しないで、必ず取っておくことです。取っ
ておいて、折に触れ学び直し、必要なときには、さっと活用できる、「学んだことを自分のこと
ばでいえる（表現・説明できる）」ようにしておくことです。

- 学校の教科書やまとめノートさえあれば、パッと開いた瞬間に、全部思い出します。「学校卒業
も折に触れ、学校の教科書やまとめノートを『学び直す』。必要なときに、使えるようにしてお
くこと」です。「一度学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ようにして
おくことは、「武士の刀」、武士が刀をさび付かせないように、手入れを怠らないのと同じです。
- ＜まとめ＞中学校・高校で学んだことは、大学や専門学校で役に立つだけではなく、仕事や、社
会的活動、日常生活で役に立つ、よく生きる上で役に立つ。一生役に立つ。

////////////////////////////////////

(4) このように、小学校、中学校、高校の各学年で学ぶすべての教科のすべての内容をどこ
でどのように「理解」し、「身に着け」たらよいのか。授業の予習、学校での授業、復習、
定着のための「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」、「单元テストや、定期試験
や実力試験対策勉強」など、様々な機会がありますので、しっかり勉強してください。

**Q：「私立中学入試」「公立中高一貫校入試」「高校入試」「大学入試」などの「受験勉強」も役に
立つのですか。**

A：(1) 役に立つどころではありません。学校で学んだ内容を、全部「理解」し、全部「身に着
ける（定着させる）」、そして、「第一志望校に入学を果たす」のに、一番役に立つのが、「受
験勉強」だからです。

(2) 「私立中学入試」「公立中高一貫校入試」で出題されるのは、小学校で学ぶ全内容です。
高校入試で出題されるのは、中学校で学ぶ全内容です。大学入試で出題されるのは、高校で
学ぶ全内容です。

(3) 入学試験の勉強を通して、「小学校で学ぶ全内容」「中学校で学ぶ全内容」「高校で学ぶ
全内容」を、スミからスミまで学び直し、「理解」し、「身に着ける（定着させる）」ことが
できます。

(4) 小学校で学ぶ内容を理解し、身に着けていなければ、中学校での勉強は難しい。中学校
で学ぶ内容を理解し、身に着けていなければ、高校での勉強は難しい。高校で学ぶ内容を理
解し、身に着けていなければ、大学や短期大学、専門学校、専修学校の勉強は難しい。各学
校で学ぶ内容を、きちんと理解し、全部理解する「最後のチャンス」が、受験勉強。

(5) このように考えれば、受験勉強ほど役に立つ勉強はないと、考えることができます。

(6) 「第一志望校の志願倍率が 1 倍を下回るから、受験勉強をしなくてもよい、1 倍を上回
っても、受かりそうだから、あまり受験勉強をしなくてもよい」という考えもありますが、
「せっかく入学試験を受験するのであれば、今通っている、小学校、中学校、高校で学ぶ内
容を、しっかり理解し、身に着ける」そして、「学んだことを自分のことばでいえる（表現
・説明できる）」ようにして、「第一志望校合格」を果たしましょう。

(7) 志を高く持ち、「第一志望校上位合格・上位卒業」を目指してください。

Q：「第一志望校上位合格・上位卒業」を目指すとどうなりますか。

A：（１）「第一志望校上位合格」を果たすということは、入学後もしっかり勉強すれば、学校生活は、とても明るいものになります。

（２）受験勉強中と同じ熱心さで勉強すれば、授業もよくわかります。しっかり、早め早めに準備すれば、定期試験でもよい点数が取れます。

（３）提出物もしっかり準備し提出すれば、学校成績（校内順位）も上位を保てます。

（４）部活動、生徒会活動、委員会活動、ボランティア活動、学校行事、自分のやりたいことに、真正面から取り組むことができます。

（５）英検・漢検・数検なども、十分準備して、学年相応級の少し上級に合格を果たせば、内申点もアップ、特色選抜や推薦入試、指定校推薦、更には、奨学金の支給対象となります。

（６）読書や趣味、スポーツも幅広く伸ばすことができます。

Q：最後に、では、どのようにしたら、「第一志望校上位合格・上位卒業」ができますか。

A：（１）まずは、開倫塾塾生目標①「学校成績（校内順位）大幅アップ」に、2026年度は、1学期から真正面から挑戦することです。「学校成績（校内順位）大幅アップ」で大事なことは、「定期試験対策を、早め早めに行い、全教科100点満点を取る」と、「提出物を、早め早めに準備、提出期限内に、できるだけ素晴らしいものを提出すること」です。

（２）次に、開倫塾塾生目標②「3大検定合格」に挑戦、各々、学年相応級プラス1級を目指す。英検は、小学6年生は3級合格、中学3年生は2級合格、高校3年生は準1級合格を目指す。漢検は、小学6年生は3級（中学校卒業程度）、中学3年生は2級（高校卒業程度）を目指す。

（３）最後に一言。すべての基本は「読解力」です。「読解力」が不足すると「上位合格・上位卒業」など夢のまた夢です。「辞書・新聞・読書・図書館に慣れ親しみ、読解力を！」